事業所名　ピュアの樹 がっけん　　11月　支援プログラム　　作成日　R8 年 10 月 26 日

法人（事業所）理念		こどもの生命と人権を尊重し、将来において温かくいきいきとした生活が送れるよう個々の特性に合った療育を提供します。 地域に根差し寄り添いながら、様々な関係機関の皆様との連携に努めます。
支援方針		こどもが楽しい！やってみたい！という気持ちを大切にし、感覚統合理論の視点を持った遊びを、程良いチャレンジから成功体験を重ねる事で、遊びを通して感覚の発達を促していきます。
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで　／　送迎実施の有無：（あり）　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	以下のような生活に必要なスキルの獲得を目指せるように丁寧にかかわります。 ・自分の荷物を所定の位置に置く、手を洗う　感染症のお話をわかりやすく話し、自分の身体を守る大切さを知る時間を提供する ・挨拶をする事で、人とのコミュニケーション　を取り、人との関りが楽しいと感じられる ・靴下の脱ぎ方や穿き方のお手本を提示し、自分で身支度ができるように関わる
	運動・感覚	・大型遊具に乗ったり身体をたくさん使う運動遊びを経験する中で、成功体験を通して達成感を感じられるようにアプローチする ・色々なお相撲遊びを行い、楽しく身体が鍛えられるように関わる（押す、引く、持ち上げる、抱える、踏ん張るを中心にした運動遊びやサーキット遊びに取り組む）
	認知・行動	・お相撲遊びを通して、日本の文化に親しむ機会をつくる ・お相撲遊びのルールを知り、負ける悔しさや勝つ喜びを経験し、諦めない気力を得るように励ましていく
	言語 コミュニケーション	お相撲遊びを通して、相撲用語に触れ、発言したり元気よく発声してみたり、友達を応援したりして一体感を味わう経験を増やせるように関わる
	人間関係 社会性	勝負がハッキリと見えてしまう事で、気持ちが落ち込んだり再び相撲ができなくなる事が予想されるが、身体を鍛えたという自信や他者の励ましや応援を受け入れて、 挑戦する気力を身に付けていけるよう寄り添っていく
家族支援		・個別支援計画書に基づく6ヵ月に１度のモニタリングと相談援助を行う ・ペアトレ、保護者交流会、研修会、支援場面の参観、連絡帳、電話など を介した相談援助を行なう
移行支援		地域で暮らす他のこどもと繋がりながら、生活を送ることができるように 具体的移行先との調整・支援方法の提供を行なう
地域支援・地域連携		こどもが通う保育所やこども園や幼稚園等との情報連携や、支援方法等に関する 相談援助、計画書の作成や見通しに関する会議を開催する
職員の質の向上		週に１度の事業所内研修や外部講師を招いての研修を年に数回行い、 職員が自信を持って支援に携われるようにしている 月例担当者会議・個人研修発表・プログラム会議・OTPTST研修
主な行事等		・こいのぼり集会・夏祭りお楽しみ会・水遊び・うんどうかい遊び・ハロウィンパーティー・**相撲大会**・クリスマス会・新年書初め・昔わらべ歌あそび・節分・お別れ会 ・**子育てひろばへの参画**・保護者会・**ＯＴ，PT，ST研修・社労士による働き方改革セミナー・虐待、拘束、安全、感染対策、BCP研修・避難訓練**



